



はんだ山の風



防犯訓練 (2013.2.27)

消防訓練 夜間想定 (2013.2.19)

Contents

- P.2 臨床研修センターのご紹介 副病院長(教育・研修担当) 阪原 晴海
- P.3 新任医師の紹介 精神科神経科 講師・外来医長 竹林 淳和
- P.4 シリーズ最先端医療「最新の下垂体副腎疾患診療」
内分泌・代謝内科長 沖 隆
- P.4 「クリスマスコンサート」が行われました 医事課
- P.5 病気 ここが知りたい「高齢者の時代」
外科学第一講座 教授 椎谷 紀彦
- P.5 「医療安全講演会」が行われました 医事課
- P.6 消防訓練(夜間想定)が実施されました 医事課
- P.6 「たんぼぼ学級運営懇談会」を開催しました 医事課
- P.7 防犯訓練が実施されました 医事課
- P.7 「病院ボランティア活動懇談会」を開催しました 医事課
- P.8 平成24年度外来患者アンケート集計結果
- P.9 平成24年度入院患者アンケート集計結果
- P.10 外来診療日一覧
- P.12 「中東遠地域医療再生支援センター事業講演会」が行われました 医事課
- P.12 「市民公開講座 浜松ピロリ菌学校」が行われました 医事課



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

臨床研修センターのご紹介

副病院長(教育・研修担当) 阪原 晴海

臨床研修センターは外来棟4階にあり、医師及び歯科医師の臨床研修に関わる業務と静岡県のみならず、くに地域医療支援センターから委託された業務を行っています。現在のセンター長は阪原で、第3内科の佐藤講師、第2外科の海野講師、口腔外科の長田講師の3名の先生方に副センター長をお願いしています。事務職員が3名配置されており、研修プログラムの立案、研修説明会への参加、マッチングの面接及び順位付け、たすき掛け病院との調整、研修の修了認定などが主な仕事です。ふじのくに地域医療支援センターの委託業務として医師就労等相談窓口が設置されていて、ここでは専任の馬場講師と事務職員1名が県の医学修学研修資金貸与者の進路相談を行っています。

研修医は、どの診療科にも属さず病院長直轄になりますので、彼らが効率的に研修を受けられるよう、研修センターではさまざまな便宜を図っています。病院の再整備で臨床研修センターも見違えるほどきれいになり、スペースもかなりの広さを確保していただきました。月に1回、病院長、センター長も参加して研修医連絡会を行い、病院からの重要な伝達事項の周知を図るとともに、研修医の要望を聞く機会を設けています。病院長に直接要望が伝わりますので、対応が迅速に行われるようになりました。臨床研修が義務化された初期



の頃と比較すると、大学病院の研修はずいぶん良くなってきたと思います。

当院の臨床研修の特徴は2年間を通して大学病院で研修を行うコースの他に1年間を市中病院で研修するコースがあることです。後者のいわゆるたすき掛けコースでは大学病院と市中病院の両方を経験することができ、多くの研修医が選択しています。

県の医学修学研修資金を受けた医師は医学部卒業後一定の年限、勤務先を県と相談しなければなりません。そこでセンターに設置されている医師就労等相談窓口が本人のキャリア形成に不利にならないよう、本人と県との橋渡しをすることになります。今後、医学修学研修資金貸与者が続々と卒業してきますので、これに関する業務が増加する見込みです。



新任医師の紹介

精神科神経科 講師・外来医長 竹林 淳和

平成25年1月より精神科神経科の講師並びに外来医長を拝命致しました。平成17年に本学の大学院を卒業後、大学病院での臨床、研究に従事しております。また、平成18年秋からは精神科の医局長を担当し、現在に至るまで、内外の連絡・調整係をさせていただいております。

臨床面では精神疾患全般を診ておりますが、特に成人の発達障害、摂食障害を専門としております。現在、我が国では子どもの発達障害が取り上げられ、皆様の目に留まることも多いかと存じます。しかし、すでに成人になっている発達障害の方々の診断、治療、社会支援は行政的な取り組みとしても近年始まったばかりで十分とは言えない状況です。静岡県では本学の児童青年期精神医学講座を中心として、児童に対する治療・支援は充実しつつありますが、今後は内外の方々のご協力をいただきながら、成人の治療・支援にも力を入れていきたいと存じます。

摂食障害は、皆さんご存じのいわゆる拒食症・過食症のことですが、年々、患者の若年化、高齢化、重症化、多様化が進んでおります。このような事情を踏まえ、平成24年秋より当院精神科神経科では摂食障害の入院治療の標準化、クリニカル・パス化を開始し、既に、当院の小児科・救急部・内科の先生方に院内の連携等に関しまして相談をさせていただいております。貴重なお時間を割いていただき、この場を借りてお礼を申し上げます。また、摂食障害の退院後の再発率は大変高



く、社会生活が大きく障害されます。これを未然に防ぎ、治療成績を向上させるべく、平成24年11月より我が国初の摂食障害専門のデイ・ケアを開設致しました。デイ・ケアルームは精神科の外来奥に設置されております。今後はこれらの包括的な取り組みの成果を国内外に発信し、摂食障害の治療成績向上の一助になればと思っております。

研究面では、大学院時代から現在まで脳画像研究に従事し、これまでは薬物・アルコール依存を対象にMRI、PET研究を行ってきました。現在は臨床面での関わりが多い発達障害、摂食障害の脳画像研究を中心に行っております。

この度、講師という責務を与えられましたことを大変重く受け止めております。今後も静岡県そして我が国の医療への貢献とともに、浜松医大が世界に向けて発信し続けられるよう微力ながら尽力させていただきます。皆様には、今まで以上にご相談をさせていただくことが増えるかと存じます。若輩の身ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



最新の下垂体副腎疾患診療

内分泌・代謝内科長 沖 隆

近年、特にこの10年間に、高血圧症の原因として内分泌疾患

患が少なからず存在し、高血圧症患者の10~15%程度を占めることが明らかとなってきました。本態性高血圧症は二次性高血圧を否定しなければならないのですが、あまり検査されていなかったのが現実でした。内分泌性高血圧症は、手術によって治癒に至る例もあり、確実な診断が臨まれます。血漿アルドステロン濃度や血漿レニン活性を測定することによって検査を進めると、高血圧症の約10%が原発性アルドステロン症の診断となります。副腎が原因ですが、左右いずれかあるいは両側が原因となるため、選択的副腎静脈サンプリングによるアルドステロン測定が、最終診断の世界的ゴールドスタンダードとなっていますが、国内で施行できる施設が少なく、問題となっています。東海地区特に静岡県でも、この検査ができる放射線科は少なく、恐らく県内の過半数を当院放射線科で施行し、国内最高レベルの技術を維持しています。当科では、本邦で初めて原発性アルドステロン症外来を開設し、実地医家との連携を密にして診療しています。片側が原因であれば病側

副腎を摘出し、治癒となります。両側の場合は、抗アルドステロン薬でコントロールします。同じ副腎が原因でも、コルチゾールを産生する腫瘍（クッシング症候群）やカテコラミン（ノルアドレナリンなど）を産生する腫瘍（褐色細胞腫/パラガングリオーマ）も少なからず見られます。褐色細胞腫/パラガングリオーマの約10%は悪性ですが、病理検査によって診断することは難しく、転移を認めて初めて悪性と診断します。このような腫瘍は、悪性腫瘍として比較的稀ですが、悪性化する分子生物学的機序については当科でも研究段階にあります。画像診断が発達し、偶然に見られる副腎腫瘍の多くに、典型的症状を示さない軽症のコルチゾール産生腫瘍であるサブクリニカルクッシング症候群を認めます。高血圧症や糖尿病の原因になっている例では、手術によってこれらが改善します。高血圧症の原因となる下垂体疾患として先端巨大症とクッシング病があります。先端巨大症では、手術療法が十分でなかった場合に、ソマトスタチンアナログや成長ホルモン受容体拮抗薬を用いますが、国内トップクラスの治療実績を有しています。クッシング病については診断ガイドライン（平成21年度版）として、当科から報告された研究が本邦で採用されています。



「クリスマスコンサート」が行われました



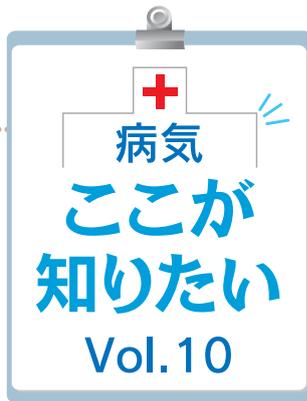
12月18日（火）多目的ホールにおいて、本学学生管弦楽団による「クリスマスコンサート」が行われ、入院患者さんやご家族等約70名が集まりました。

このコンサートは、7月の「サマーコンサート」とともに年2回開催しているもので、普段聴くことのない生の演奏を患者さんたちに聴いていただき、少しでも元気になってもらいたいという願いのもと、学生管弦楽団約60名が「弦楽」と「吹奏楽」の2つのグループに分かれ、各楽器の音色を紹介しながら、『星に願いを』、『ジングルベル』、『そりすべり』、『いつも何度でも』など

の演奏を披露し、楽しいひと時を過ごしました。
学生管弦楽団の皆様ありがとうございました。

医事課





「高齢者の時代」



外科学第一講座 教授 椎谷 紀彦

対象となる患者さんは年々増加しており、昨年は39例に達しました。また大動脈弁に人工弁をカテーテルで移植する治療はTAVRと称していますが、今年中には我が国でも認可される予定です。浜松医大の循環器病チーム（内科・外科）はこの治療を実施するための条件を全てクリアしており、あとは病院の設備が整うのを待つばかりです。

ただし、カテーテル治療は全ての患者さんにお勧めできる万能の治療ではなく、適した患者さんを正しく選択する必要があります。また不測の事態に迅速に対応する力も必要です。この点では、高齢者に対する通常の手術の経験を十分に積んでいる事が必要です。昨年1年間に第1外科で施行した心臓・大血管手術（直接命にかかわる病気の手術）は213例ですが、このうち75歳以上の後期高齢者は77例（36%）で、80歳以上の方も46例（22%）もいらっしゃいます。約5分の1は緊急手術になっておりますので、残念ながら術後に亡くなった方も3名（1.4%）いらっしゃいますが、ご高齢であっても術前お元気な方はお元気なまま退院していただけるようになったと自負しています。

世界でも有数の長寿国となった日本、特に静岡県は男女ともに健康寿命（日常生活に制限がない期間）が1・2位で、元気なお年寄りも、これからはますます増えると思います。私たち心臓血管外科で扱う成人の病気の多くは、喫煙やバランスの悪い食事、運動不足といった良くない生活習慣が引き起こす、いわゆる生活習慣病です。これは動脈硬化、すなわち血管の老化が原因ですから、患者さんはどんどん高齢化しています。

特に最近増加しているのは、大動脈弁狭窄症（心臓の出口の弁が硬くなって開かなくなる病気）、大動脈瘤（大動脈が膨らんで風船のように破裂する病気）です。それぞれ、人工弁、人工血管を移植しますが、最近は大きく切らずにカテーテルで治療する方法も進歩してきています。大動脈瘤に対するカテーテル治療はステントグラフト治療といいますが、浜松医科大学第1外科でもその

「医療安全講演会」が行われました

1月17日（木）臨床講義棟大講義室において、平成24年度 第3回 医療安全講演会が開催されました。

講演会は、今野 弘之先生（本院医療安全管理室長）による司会進行及び講師紹介、瀧川病院長のあいさつの後、大磯 義一郎先生（本学医学部法学教授）による「インフォームドコンセントの考え方 ～基礎編～ 法的インフォームドコンセントと同意書の必要的記載事項」という演題で講話を行いました。

会場には約330名の本学関係者（医師、看護師等）が集まり、メモを取りながら熱心に聞き入り、講演会終了後の質疑応答では、活発な意見交

換が行われました。

また、今回は初めての試みとして、サテライト会場を用意し、会場に入れない方も同時中継による映像により講演会を視聴しました。

医事課



左から今野 弘之先生、瀧川病院長、大磯 義一郎先生

消防訓練(夜間想定)が実施されました

2月19日(火) 病院病棟3階西 306号室からの火災発生を想定して消防訓練を実施しました。

病院においては、年2回の訓練(昼間及び夜間を想定した訓練)が消防法で義務づけられているため実施するもので、今回の訓練では、病院内の職員が少ない夜間を想定し、消防に対する意識の高揚と、教職員並びに患者さんの安全を図ることを目的に、次の訓練を実施しました。

- ① 自衛消防隊設置訓練
(教職員の参集、災害対策本部等の設置)
- ② 通報訓練(119番通報、学内放送連絡、災害対策本部等への状況報告等)
- ③ 消火訓練
(消火器及び屋内消火栓を使用した初期消火)
- ④ 避難誘導訓練(模擬患者の避難誘導)

訓練終了後、消火器及び屋内消火栓操作訓練並びに非常食の試食会を実施し、中村学長及び浜松市東消防署より講評をいただきました。

今回の訓練により、速やかに防火体制に移行す

るという一連の対応行動を身に付け、改めて防火に関する意識を高めることとなりました。

医事課



「たんぽぽ学級運営懇談会」を開催しました

2月14日(木) 外来棟4階会議室において、平成24年度たんぽぽ学級運営懇談会を開催しました。

この懇談会は、学校関係者(有玉小学校及び積志中学校教員)と本院関係者(病院長、小児科医師、看護師等)が出席し、毎年開催しているもので、学校側からは、本年度の取り組みや成果及び課題について報告があり、その後の質疑応答では、活発な意見交換を行いました。

県内唯一の院内学級である「たんぽぽ学級」を今後より良く運営していくための、貴重な情報交換の機会となりました。

医事課



防犯訓練が実施されました

2月27日（水）外来棟2階総合受付付近において、昨年12月28日から運用を開始した「110番直結非常通報装置」の病院職員への周知と、事案発生時に職員がとるべき措置の確認のための防犯訓練を浜松東警察署の協力のもと、職員等約50人が参加して実施しました。

今回の訓練では、窓口職員の対応に腹を立てた犯人（浜松東警察署員が扮装）が、ナイフを所持して来院し、「対応した職員を出せ。」と脅したことを想定し、次の訓練を実施しました。

- ① 110番直結非常通報装置を使用した通報
- ② 犯人への初期対応
- ③ 患者等の安全対策（避難誘導）

訓練終了後、浜松東警察署 山本地域課長から「落ち着いた行動、素早い110番、犯人の特徴のチェックの3つをお願いしたい。」と講評があり、最後に瀧川病院長があいさつを行い、防犯訓練を終了しました。

医事課



「病院ボランティア活動懇談会」を開催しました

3月12日（火）外来棟4階会議室において、平成24年度病院ボランティア活動懇談会を開催しました。

この懇談会は、本院ボランティア活動員と病院職員が出席し、毎年開催しているもので、病院長の日頃のボランティア活動に対する謝辞の後、本年度の実施事項等について報告があり、その後の意見交換では、活発な意見交換を行いました。

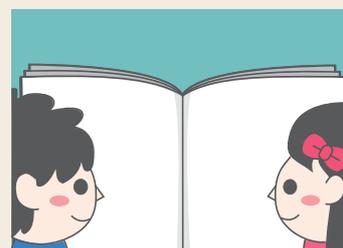
浜松医科大学附属病院では、ボランティア活動員を募集しています。

活動内容は、「外来患者さんの案内」、

「再来受付機の操作補助」、「図書室における本の整理」、「読み聞かせ」等です。

ボランティア活動に興味のある方は、医事課担当者（医事係 三輪：連絡先電話番号 053-435-2604）までお問合わせください。

医事課



平成24年度外来患者アンケート集計結果

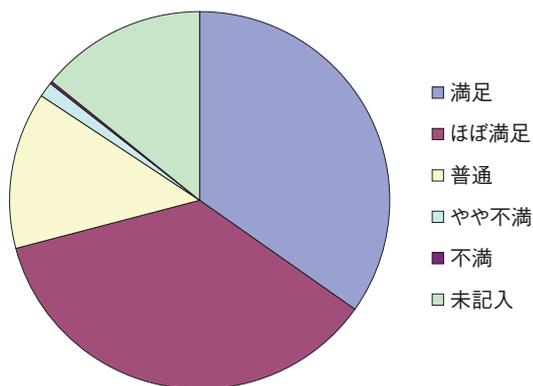
患者サービスの向上を図るため、下記のとおり外来患者さんを対象にアンケートを実施しました。今後は、このアンケート結果を患者サービスの向上に反映いたします。

①実施期間／平成25年2月4日(月)～8日(金)

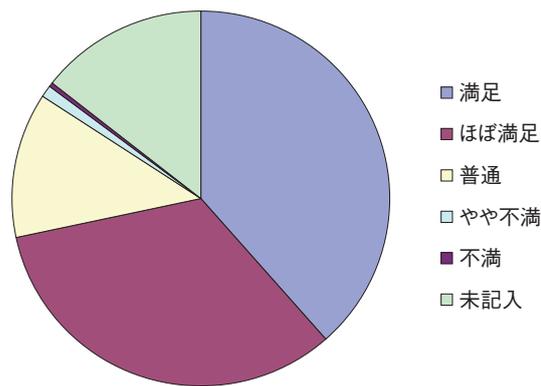
②回答数・回収率等／配布数 2,064件 回答数 1,934件 回収率 93.6%

当院全体の満足度をおたずねします。

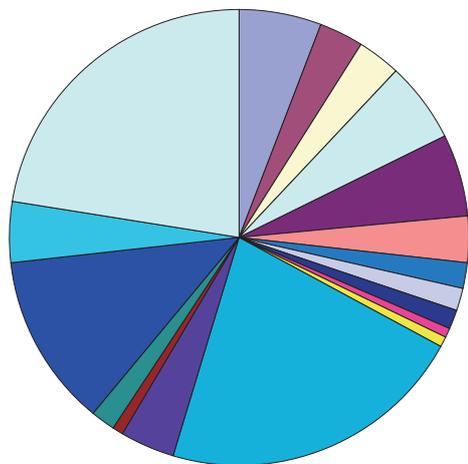
医療(治療、処置、検査等)に対する評価



あなたは「この病院に来てよかった」と思いますか

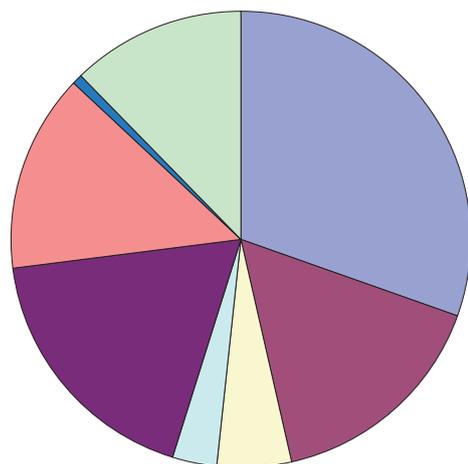


当院について「特に改善が必要である」と思われることは何ですか。



- 患者さんの話をよく聞く
- 患者さんの意思の尊重
- プライバシーへの配慮
- 病状説明
- 診断・治療に関する情報提供
- 手続きの説明
- 言葉づかい、態度、身だしなみ
- 医療技術
- 看護ケア
- 診断・治療機器
- 診察室
- 診察までの待ち時間
- 食事・食堂
- ボランティア
- トイレ
- 駐車場
- その他
- 未記入

浜松医科大学医学部附属病院に期待するのは、どのようなことですか。



- 高度、最先端の医療サービス
- かかりつけ医と連携した医療サービス
- 市、県と連携した保健・衛生サービス
- 公開講座などによる医療情報の提供
- 良質な医師、看護師の育成と供給
- 専門分野における先端的研究の推進
- その他
- 未記入

平成24年度入院患者アンケート集計結果

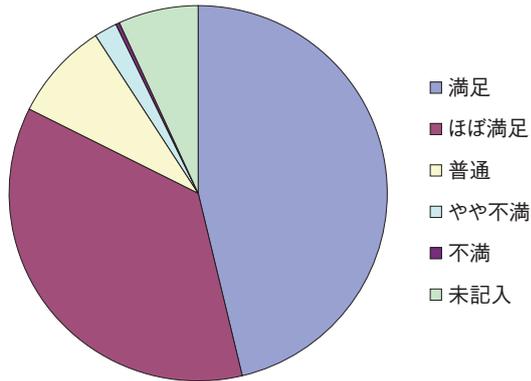
患者サービスの向上を図るため、下記のとおり入院患者さんを対象にアンケートを実施しました。今後は、このアンケート結果を患者サービスの向上に反映いたします。

①実施期間／平成25年2月1日(金)～7日(木)

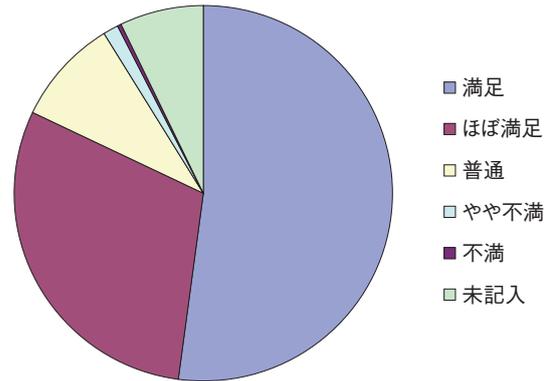
②回答数・回収率等／配布数 536件 回答数 341件 回収率 63.6%

当院全体の満足度をおたずねします。

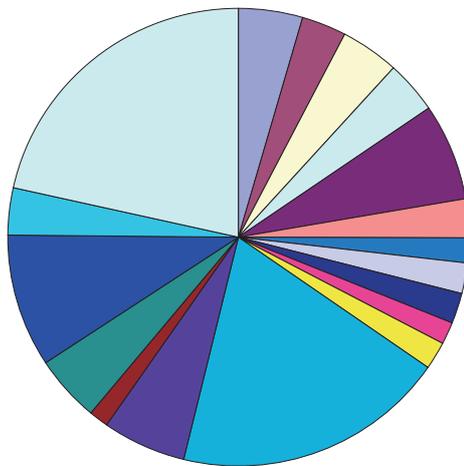
医療(治療、処置、検査等)に対する評価



あなたは「この病院に来てよかった」と思いますか

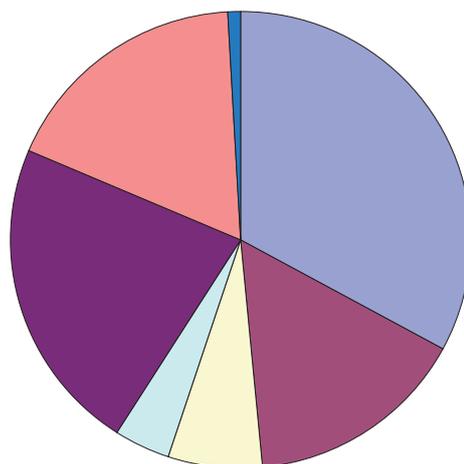


当院について「特に改善が必要である」と思われることは何ですか。



- 患者さんの話をよく聞く
- 患者さんの意思の尊重
- プライバシーへの配慮
- 病状説明
- 診断・治療に関する情報提供
- 手続きの説明
- 言葉づかい、態度、身だしなみ
- 医療技術
- 看護ケア
- 診断・治療機器
- 診察室・病室
- 診察までの待ち時間
- 食事・食堂
- ボランティア
- トイレ
- 駐車場
- その他
- 未記入

浜松医科大学医学部附属病院に期待するのは、どのようなことですか。



- 高度、最先端の医療サービス
- かかりつけ医と連携した医療サービス
- 市、県と連携した保健・衛生サービス
- 公開講座などによる医療情報の提供
- 良質な医師、看護師の育成と供給
- 専門分野における先端的研究の推進
- その他
- 未記入

外来診療日一覧

H25.4.1現在

受付時間 午前 8時30分～11時 一般外来・専門外来
午後 0時30分～ 2時 専門外来

休診日 土曜日及び日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

○：午前
△：午後
◎：午前・午後
◆：予約のみ

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
内科 受付 435-2632											
総合内科 初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第一内科 消化器内科	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	
腎臓内科	○	○	○		○	○	○	○		○	
神経内科	○	○	○		◆	○	○	○		◆	
第二内科 肝臓内科	○	○		○	○	○	○	◆	○	○	
呼吸器内科	○	○		○	○	○	○		○	○	
内分泌・代謝内科	○	○		○	○	○	○		○	○	
第三内科 血液内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
免疫・リウマチ内科	○		○	○	◆	○		○	○	◆	
臨床薬理内科	○			○	○	○			○	○	要問い合わせ
循環器内科	○	◆	◎	○	○	○	◆	◎	○	○	◎要問い合わせ
ペースメーカー外来											◆予約のみ、要問い合わせ
ピロリ菌外来	◆					◆					
精神科神経科 受付 435-2635											
初診・再診	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
専門外来 森田療法								△			
児童思春期		○					○				
摂食障害外来								△			
認知療法外来									○	○	
デイケア							◎		◎	◎	
小児科 受付 435-2638											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門外来 小児遺伝		◆					◆				午後の診察は、 全て予約制
内分泌		◆			◆		◆			◆	
心臓				◆	◆				◆	◆	
血液									◆	◆	
免疫・アレルギー	◆					◆			◆	◆	
神経		◆		◆			◆		◆		
腎臓				◆					◆		
新生児フォローアップ							◆			◆	
乳児検診	◆					◆					
外科 受付 435-2641											
第一外科 呼吸器外科			◆					○		○	
一般外科（内視鏡）	○		○		○	○		○		○	
乳腺外科	○	○			○	○	○			○	
心臓血管外科	◆		◆		◆	○		○		◆	
外科 受付 435-2642											
第二外科 上部消化管外科			○					○			
下部消化管外科	○					○					
肝胆膵外科					○					○	
血管外科		○				○					
緩和ケア外来	◆	◆			◆	◆	◆			◆	
脳神経外科 受付 435-2644											
初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
整形外科 受付 435-2647											
初診・再診	○		○	◆	○	○		○	◆	○	
専門外来 教授外来（脊椎）	◆			◆		◆			◆		
骨粗鬆症				◆					◆		
リウマチ			◆	◆				◆	◆		
手・末梢神経			◆					◆			
脊椎	◆					◆					
腫瘍			◆					◆			
股関節					◆					◆	
肩関節					◆					◆	
膝関節					◆					◆	
小児整形	◆					◆					

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
皮膚科 受付 435-2650											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来 乾癬外来		○		○			○		○		
アトピー外来	○		○			○		○			
光線過敏症外来		○					○				診察日は、奇数月の第4週のみ
脱毛症外来	◆					◆					
化学療法スキンケア外来		○		○			○		○		
泌尿器科 受付 435-2653											
初診・再診	○	○	○	○			○	○	○		
専門外来 腎移植外来		◆	○※	○※1			◆	○※	○※1		※第4週は休診 ※1 第2週は休診 ◆第4週の午後のみ
排尿障害外来		○		○			○		○		
不妊症外来	◆				◆	◆				◆	月曜日第2週は休診
前立腺密封小線源外来		○					○				
眼科 受付 435-2656											
初診・再診	○	○※	○	○	○	○		○	○	○	※院外からの紹介のみ
専門外来 網膜変性外来		◆					◆				診察日は、第1、3、5週のみ
斜視・弱視外来								◆			
ロービジョン										◆	
耳鼻咽喉科 受付 435-2659											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
専門外来 腫瘍外来	○					○					
耳外来				○					○		
めまい外来			◆								
耳鳴外来		○					○				
難聴外来・人工内耳外来		○					○				
睡眠時無呼吸・いびき外来					○					○	
顔面神経外来					○					○	
鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科 受付 435-2662											女性医師ご希望の方はお申し出ください
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来 婦人科外来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産科外来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
腹腔鏡外来		◆					◆				
光療法外来			◆					◆			
母親学級							◆				} 予約制 } 診察日は、第1、2、4週のみ
女性漢方外来		◆					◆				
A R T 室 435-2664											
不妊外来						◆	◆		◆	◆	
放射線科 受付 435-2665											
放射線治療外来	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆	
アンギオ外来		○		○			○		○		
麻酔科蘇生科 受付 435-2668											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
リハビリテーション科 受付 435-2747											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
形成外科 受付 435-2496											
初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○		午後
小児外科 受付 435-2638											
初診・再診		○					○				
歯科口腔外科 受付 435-2673											
初診・再診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	} 専門外来の診察日は不定期のため、歯科口腔外科受付にお問い合わせください
専門外来 唇顎口蓋裂外来			○					○			
インプラント外来			○					○			
顎補綴			○					○			
矯正歯科					○					○	

「中東遠地域医療再生支援センター事業講演会」が行われました

1月19日（土）アクトシティ浜松コングレンスセンター 41会議室において、中東遠地域医療再生支援センター事業「二次医療圏の診療情報の集約化とデータベース化事業のモデル構築」講演会が開催されました。（主催：本学附属病院医療福祉支援センター）

講演会は、小林 利彦先生（本院医療福祉支援センター長）による司会進行、講師紹介、あいさつの後、梅本 礼子先生（広島市立広島市民病院医療支援センター診療情報管理室）による「院内がん登録の有効活用－医療者に喜ばれる診療情報管理－」、野田 真喜子先生（名古屋大学病院医事課クラーク管理室）による「東海地区における医師事務作業補助者の現況と課題」及び小林 利彦先生による「DPCデータをフル活用する－新たなデータベース化利用への挑戦－」という演題

で講話を行いました。

会場には約120名の医療関係者（静岡県西部地区の医師、看護師、事務、クラーク）が集まり、メモを取りながら熱心に聞き入り、講演会終了後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。

医事課



「市民公開講座 浜松ピロリ菌学校」が行われました

2月2日（土）浜松市医師会講堂において、市民公開講座 浜松ピロリ菌学校が開催されました。（主催：本院臨床研究管理センター）

この市民公開講座は、胃がんの最大の原因とされているピロリ菌について知ってもらおうと浜松市の消化器専門医、日本ヘリコバクター学会認定医や胃がんやピロリ菌に関心のある方が参加し、古田 隆久先生（本院臨床研究管理センター病院教授）による司会進行及び講師紹介の後、講話を行いました。

講師には、佐原 秀先生、市川 仁美先生、魚谷 貴洋先生、杉本 光繁先生（本院消化器内科）、白井 直人先生（遠州病院 消化器内科部長）、佐藤 嘉彦先生（聖隷浜松病院 消化器内科部長）、山田 正美（浜松医療センター 消化

器センター長）及び馬淵 友良（一貫堂医院 院長）が務め、会場には約200名が熱心に聴講し、その後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。

医事課



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です。

病院広報 **はんだ山の風** 第11号 平成25年4月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/<http://www.hama-med.ac.jp/>